

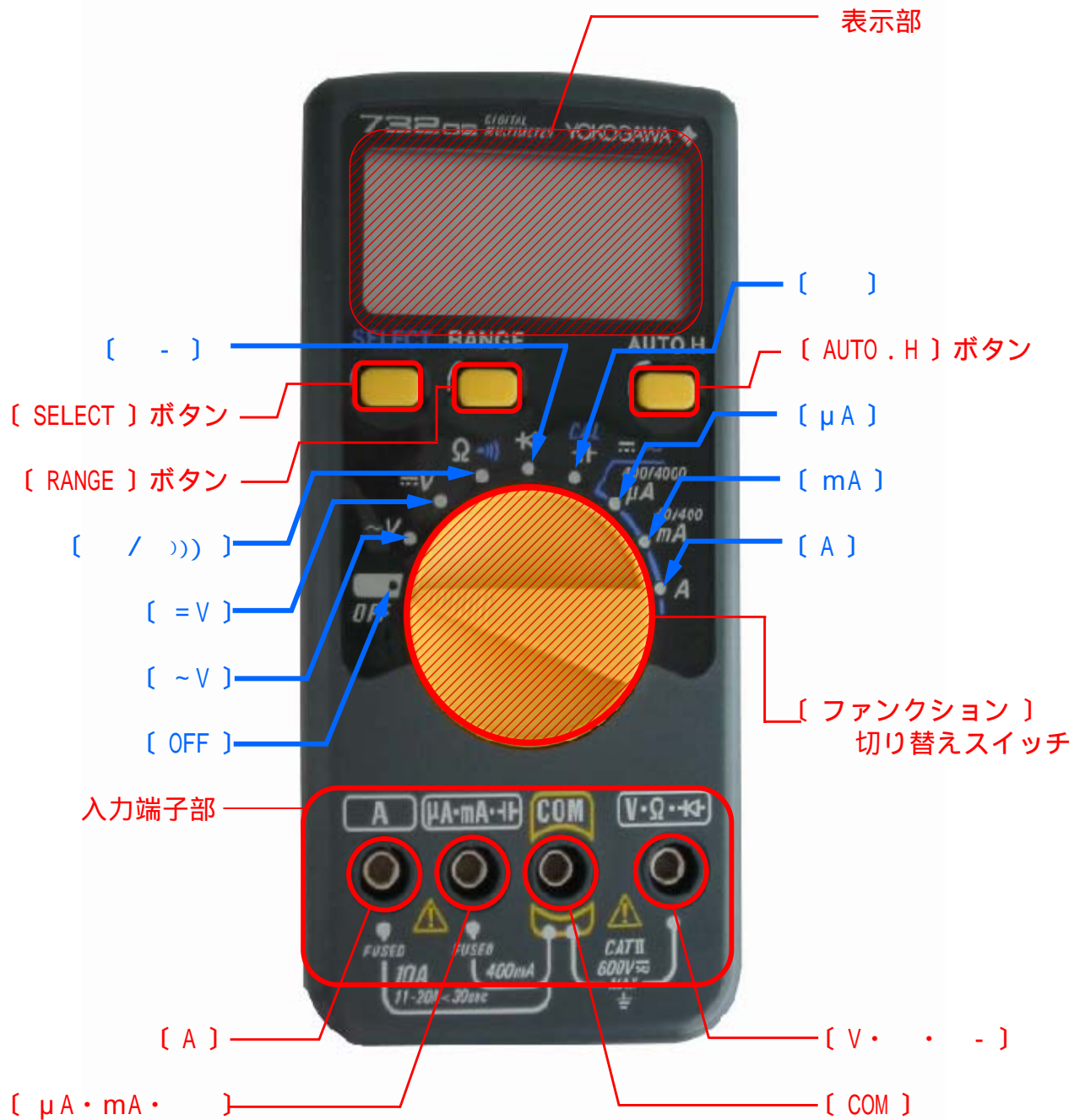
通電計（デジタルマルチメーター） 使用マニュアル



山梨産業保健推進センター

【各部の名称】

青色：〔ファンクション〕切り替えスイッチの各名称



1 . 交流電圧・直流電圧・抵抗の測定方法

被測定回路の電源が切っているか確認します。

[ファンクション] 切り替えスイッチの設定を切り替えます。

- ・ 交流電圧の測定を行う場合 [~V] の位置に切り替えます。
- ・ 直流電圧の測定を行う場合 [=V] の位置に切り替えます。
- ・ 抵抗の測定を行う場合 [/ Ω] の位置に切り替えます。

測定手順 からは交流、直流、抵抗すべて同じ操作を行います。

入力端子部に黒、赤 2 本のテストリードを差し込みます。
黒 [COM] 赤 [V・ -] に差し込みます。

オートホールド機能（自動的に測定中の値を保持する）を使用しない場合は、
手順 から操作を進めて下さい。

被測定物にテストリードを接続する前に [AUTO . H] ボタンを押します。
本器表示部に [A . H] と表示されます。
オートホールド機能の設定がされました。

被測定回路に黒、赤のテストリードを接続します。

[ファンクション] 切り替えスイッチの設定及びテストリードと入力端子が
測定目的に適した位置にあるか確認します。

被測定回路の電源を入れます。

- ・ 交流測定時：表示部に [~] の記号が表示されます。
- ・ 直流測定時：表示部に [=] の記号が表示されます。

表示が安定したら値を読み取ります。

- ・ 電圧測定時の単位表示：[mV、]
- ・ 抵抗測定時の単位表示：[、 k 、 M]

オートホールド機能を使用している場合、測定値が安定すると
ブザーが鳴ります。

保持された測定値は、被測定回路からテストリードを外した後に表示されます。

被測定回路の電源を切り、テストリードを外します。

〔ファンクション〕切り替えスイッチを〔OFF〕の位置に切り替えます。

〔A・H〕と表示されている間は、何回でも手順 ~ の操作を行うことができます。

再度、〔AUTO・H〕ボタンを押すと機能は解除されます。

2 . 電流の測定方法

〔ファンクション〕切り替えスイッチを電流の大きさに合わせて〔 μ A〕または〔mA〕か〔A〕の位置に設定を切り替えます。

電流の大きさが予測できない場合は、〔A〕の位置に設定を切り替えます。

〔SELECT〕ボタンを押して、交流を選択します。
交流を選択すると表示部に〔~〕が表示されます。

入力電子部に黒、赤 2 本のテストリードを差し込みます。

- ・黒 〔COM〕に差し込みます。
- ・赤 〔ファンクション〕切り替えスイッチの設定と同じ入力端子に差し込みます。

オートホールド機能は使用出来ません。

被測定回路にテストリードに接続します。

〔ファンクション〕切り替えスイッチの設定及びテストリードと入力端子が測定目的に適した位置にあるか確認します。

表示が安定した時点で値を読み取ります。
電流測定時の単位表示 :〔 μ A、mA、A〕

1 1 ~ 2 0 A測定は、3 0 秒以内なら出来ます。
3 0 秒以上の測定を続けると警報ブザーが鳴ります。測定を中止して下さい。
測定を続ける場合は、2 分間以上の間隔を開けてから再測定して下さい。

被測定回路の電源を切り、テストリードを外します。

〔ファンクション〕切り替えスイッチを〔OFF〕の位置に切り替えます。

3 . 導通チェック

被測定回路の電源が切っているか確認します。

[ファンクション] 切り替えスイッチの設定を [/))] の位置に切り替えます。

[SELECT] ボタンを押します。
[))] の記号が表示部に表示されます。

入力電子部に黒、赤 2 本のテストリードを差し込みます。
黒 [COM] 赤 [V · · -] に差し込みます。

誘導チェックをする被測定回路に黒、赤のテストリードを接続します。

被測定回路の電源を入れます。
導通 (約 5 0 以下) がある場合には、ブザーが鳴ります。

チェックの終了。
被測定回路の電源を切り、テストリードを外します。

[ファンクション] 切り替えスイッチを [OFF] の位置に切り替えます。

4 . コンデンサーチェック

[ファンクション] 切り替えスイッチを [] の位置に切り替えます。

入力電子部に黒、赤 2 本のテストリードを差し込みます。
黒 [COM] 赤 [μ A · mA ·] に差し込みます。

[SELECT] ボタンを押します。
[0 . 0 0] と [CAL] が表示部に表示され、浮遊容量のゼロ校正が行われます。

コンデンサーにテストリードを接続し、表示が安定したら値を読み取ります。

極性のある電解コンデンサーの場合はテストリードの赤を +、黒を - に接続します。

テストリードを外します。

[ファンクション] 切り替えスイッチを [OFF] の位置に切り替えます。

オートパワーオフ機能（約20分後に自動的に電源が切れます。）

電源が切れる約1分前にブザー（警告音）が鳴ります。

そのまま本器のボタン等に触れずに放置します。

自動的に電源が〔OFF〕になります。

【機能を使用しない、または延長する方法】

- ・ブザーが鳴っている間に本器のいずれかのボタン等を押すと延長されます。
- ・オートパワーオフ後、本器のいずれかのボタン等を1回押すと電源が入ります。

《このマニュアルを使用されます方へ》

- ・このマニュアルは、山梨産業保健推進センターの業務上での利用を目的として作成されたものです。その利用目的外での使用に対し、取扱上で発生することと異なる可能性がありますので予めご了承下さい。
- ・このマニュアルに関し、無断での二次使用はご遠慮いただきますようお願いいたします。